

授業概要

科目名	作業学実習Ⅱ					授業の種類	実習	講師名				
授業回数	23	回	時間数	45	時間	1	単位	必修・選択	必修	配当学年 時期	1年	後期
【授業の目的・ねらい】 作業療法の臨床現場では様々な作業活動が行われています。ここでは代表的な作業活動を実際に行い、心身に与える影響を考えます。												
【実務者経験】 作業療法士として回復期病棟で3年間勤務し、その後訪問リハビリを経験。身体機能障害、精神障害領域における作業療法に従事												
【授業全体の内容の概要】 前期にはこまごまとした手工芸を中心とする作業活動を8種目、後期にはダイナミックな作業活動を含めた7種目行います。												
【授業終了時の達成課題（到達目標）】 各作業活動の作業工程と使用する物品名および使用方法を熟知し、心身に与える影響を述べることができる。												
回数	講義内容										準備物(教材)	
1	陶芸										陶芸土等	
2	陶芸										陶芸土等	
3	陶芸										陶芸土等	
4	陶芸										陶芸土等	
5	陶芸										陶芸土等	
6	陶芸										陶芸土等	
7	陶芸										陶芸土等	
8	釉薬										釉薬	
9	釉薬										釉薬	
10	編み物（さをり織り）										毛糸等	
11	編み物（さをり織り）										毛糸等	
12	スプールウィービング										毛糸等	
13	スプールウィービング										毛糸等	
14	スプールウィービング										毛糸等	
15	スプールウィービング										毛糸等	
18	銅板細工										材料等	
19	銅板細工										材料等	
16	木工										木材等	
17	木工										木材等	
20	木工										木材等	
21	木工										木材等	
22	木工										木材等	
23	木工										木材等	
	定期筆記試験											
【使用教科書・教材・参考書】 ゴールドマスター・テキスト作業学第3版（メジカルビュー）												
【準備学習・時間外学習】 資料等												
【単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など）】 試験の結果を100点満点として成績を評価する。 作業分析のレポートの評価を30点、各作業活動の仕上がりの評価を20点、筆記試験を50点として合計100点とする。 60点以上の場合に科目を認定する。												